

大池中学校だより

四日市市立大池中学校 第7号

令和8年 5月8日(金) 発行: 校長

大池中学校 HP QRコード → →



【学校教育目標】 『心豊かに かかわる力 つながる力 そして、生き方につなげる力』の育成

大池中生の「命を守る」安心・安全な登下校ができるために ①

心にも、時間にも「ゆとり」と「余裕」のある登校時の行動は、みなさんの『大切な命を守る』行動に必ずつながってきます！

1年間を通して「8時25分～8時30分を『こころタイム』とし、荷物の整理整頓と、心の天気を実施し、8時30分からの「朝の学活」の時間にこころを落ち着かせ備える。

※ 全校生徒が時間と心に余裕とゆとりを持って少しだけ早めに登校することは、通学途中の自転車事故を予防し、8時30分にこころを落ち着かせた状態で1日を迎えるようにするため。そして、安心安全な学習環境を整理整頓から整えるため。

【大池中学校の全校生徒のみなさんの4月からの成果として・・・】

4月7日の始業式・入学式から、本日5月7日(木)までは、8時25分には全校のみなさんが大変落ち着いた状態と整理整頓ができた教室環境で『こころタイム』を迎えられています。

その結果、登校時の自転車通学でのケガ・事故が昨年度よりも大きく減少しています。しかし・・・

朝からの「よい準備は、よい結果を生む(心が整う・気持ちがおだやかになる)」。



GWが終わり、本日から5月の授業も日常に戻ります。現状の大池中学校の落ち着きは、昨年度から継続ができています。しかし、昨年度のいま頃、課題としてあったのは、登校の際、生徒昇降口(生徒玄関)で登校時のみんなの様子を見ていると、8時25分頃にギリギリで教室に息を切らせて駆け込んでいく姿を目にしました。このようなギリギリの時間に駆け込んでいく日常は、すぐに落ち着いて「心の天気の入力」や「朝学活」ができるでしょうか。8時30分のチャイムが鳴った時点で、カバンをロッカーにしまい着席ができていれば遅刻にはなりません。しかし、この行動が本来の『正しい行動』と言えるでしょうか。でも、**今年度令和8年度は、全校のほとんどの子どもたちが8時20分には**

教室に入り、「荷物の整理整頓」や「心の天気の入力」ができ、自然と「朝の読書活動」が各クラスにてはじまっています。そして、8時30分の出席確認にて、遅刻をしてくる子どもたちはほほいません。



このような行動にスポットがあたってしまいがちですが、一番大切な本質はここでないと思います。**一番大切にしたい本質は、大池中生のみなさんが「命を守る」安心・安全な登下校ができることです。中学校での学びとして身に付けてほしいことのひとつに、「規則正しい生活」があります。その中には、「時間を守ること」という大切な要素が含まれています。**

新学期のスタートから1ヶ月が経過した今だからこそ、もう一度、自分の自転車での登下校について、自転車の乗り方、交通安全についての考え方を見直してみましょう！

心と時間にゆとりも余裕もなく、スピードを出しての自転車運転や、急いで学校に駆け込み、ダッシュで教室に駆け込む姿は、交通事故に巻き込まれる可能性が限りなく高くなります。そのための、交通事故の被害者にも加害者にもならないために・・・。

登校時には、「ゆとり」と「余裕」をもって・・・。

心にも時間にも「ゆとり」と「余裕」のある登校時の行動は、みなさんの大切な『命を守る』行動につながります！そして、「命を大切にすること」＝「時間を大切にすること」にもつながると思います。

【保護者の皆さまへ】 新学期がはじまり、表面に記したように登校時の時間は本当に全校生徒とも落ち着いた様子での登校ができています。しかし、まだまだ心配なことがあります。

1年生のみなさんを見ていると、大池中学校バックを自転車の荷台にゴムひもでしっかりくっついていなくて、自転車の荷台からカバンが落ちたり、まだまだバランスがとれないような場面も見受けられます。2年生、3年生ではカラダの成長とともにサドルを高くて自転車に乗る子どもたちもいます。しかし、必ず両足が安定して地面に付く位置でサドルの高さを調整しているのかもご家庭で確認をしていただけると嬉しいです。荷台のカバンがしっかりとくっつけられている確認合め。

大切な命を守るヘルメット（休日も含め）



4月から同様に、朝の時間に『心にも、時間にも「ゆとり」と「余裕」をもつての登校』を継続してほしいです。GW明けからは例年、お子さまの登校状況が8時30分に間に合わない遅刻やギリギリでの登校状況が増えたりすることもあります。中学校と家庭で協力しあい、安全・安心な登校、自転車通学を見守っていきたいと思います。令和5年度4月1日（土）から、「改正道路交通法が施行」され、「すべての自転車利用者のヘルメット着用が義務化」されました。警視庁のデータによると自転車乗車中のヘルメット着用状況別の致死率（死傷者のうち死者の占める割合）は、ヘルメット着用よりも非着用時が約2、6倍も高く、死者の約6割が『頭部に致命傷を負っている』。大池中学校は

【写真は4月のPTA登校指導の様子】 自転車通学を認める条件として『ヘルメットの着用』は完全に義務化しています。ヘルメット着用は当然ですが、**自転車通学を認める1番の決まりごとは、「交通ルールや交通マナーを守り、大池中学校での約束事を守り、安心・安全な自転車運転ができる生徒」となっています。**自転車は自動車の仲間である『軽車両』です。交通ルールやマナーをきちんと守り、自らの命を守るためにヘルメットを必ず着用をして、安心して安全な自転車運転を心がけましょう！

大池中生の「命を守る」安心・安全な登下校ができるために ②

■地域の皆さんから『自転車通学登校時にかかわる注意』の連絡！！

4月17日（金）みなさんが自転車事故の加害者にも・被害者にもならないために注意連絡が学校に届きました。担任の先生を通じて、すべてのクラスにて確認と全体への注意喚起をさせてもらいました。全校生徒から、この事故にかかわったと思われる人、その現場を見た人などは名乗り出ていません。

【何が問題なのか】

・三重地区通学路（江田神社前道路で道いっぱい広がる自転車の並列走行によって、集団登校中の小学生のランドセルと自転車通学をする中学生の自転車の一部が接触。幸い大きなケガはないのが救いでしたが、一歩間違えると、小学生の子どもたちの命にもかかわる大きな事故やケガにもつながる恐れのある接触だったと思います。（自転車は車両通行帯のない道路では、道路の左側端によって走行）

・自転車は「軽車両」です。登下校時の自転車運転において、一番気をつけてほしいことは、歩行者が最優先であること。そして、通学路のスクールゾーンであっても、自動車にも十分気をつけ、みんなが安心安全な通学ができるために。

自転車でのケガをした後輩を、先輩が助けてくれました！勇気ある行動と優しさ いっぱいの行動が嬉しいです！ありがとう！（名前は本人の申し出で記しません）

次のような心あたたまる行動を起こしてくれた3年生の男子生徒がいます！5月1日（金）県小学校区の東名阪自動車道のトンネル付近で、自転車の転倒でケガをしていた大池中学校1年生生徒を、すぐに助け、寄り添い、学校まで1年生の子のカバンを持ってずっと一緒に登校をしてくれました。自転車で転倒をした生徒は、自宅を出る時間がいつもより遅くなり、あわてて自転車に乗って登校をしていました。いつもよりスピードを出していたため、トンネル付近ですべて自転車ごと転倒。顎（あご）とおでこを道路にぶつけてしまう出血をとまなうケガ。そんな時、3年生の男子生徒がケガをした生徒に優しく寄り添って、一緒に登校をしてくれました。ケガをした生徒は保健室で応急手当をし、保護者とともにすぐに病院に向かいました。ヘルメットをかぶっていることによって、頭部への衝撃は和らげることができたと思います。一歩間違えると、本当に大きな事故に巻き込まれたかもしれません。夕刻に病院から戻った生徒と保護者の方は、助けてもらった3年生の男子生徒に感謝の思いを校長室から、電話にて保護者の方と3年生生徒にお礼の言葉を伝えていました。このような勇気ある、思いやり一杯の行動が大池中学校に増えていくと嬉しいです。